

抗 Nob1 (S.cerevisiae) 抗体、ウサギポリクロ

62-211 100 ul

プロテアソームはユビキチンで修飾されたタンパク質を分解する酵素である。活性型の 26S プロテアソームはタンパク質分解実行ユニットである 20S プロテアソームの両端に、それを制御する 19S 複合体が会合した巨大な分子複合体である。ユビキチン・プロテアソームによる分解システムは、傷害を受けたり、ミスフォールドしたタンパク質を除去するのみならず、細胞周期制御、免疫応答、シグナル伝達といった細胞内の様々な働きに関わっている(文献 1)。 Nob1 は 26S プロテアソームの構築に必要な核タンパクであり(文献 2)、核内で 20S プロテアソームを 19S 複合体に結合させるシャペロンとして働いていると推察され、26S プロテアソームの成熟に伴って分解されて消失する(文献 3)。Nob1 タンパク質は 459 のアミノ酸から成る。

用途:

1) ウエスタンブロッティング (~400 倍希釈) 2) 免疫沈降 その他の用途は試されてない。

製品: リコンビナント酵母 Nob1 タンパク質でアフィニティ精製したウサギポリクローナル抗体

抗原: *E. coli* に発現させたリコンビナント酵母 Nob1p タンパク質

形状: 精製 IgG in PBS, 1 mg/ml BSA, 0.09 % sodium azide, 50% glycerol

反応特異性: S. cerevisiae Nob1 タンパク質。他の種はテストしていない。

保存: 4℃または-20℃で送付、-20℃で保存。

データリンク: SGD NOB1/YOR056C

文献: この製品は文献2と3に使用された。

- 1. Hershko A and Ciechanover A THE UBIQUITIN SYSTEM *Annu Rev Biochem* **67**: 425-479 (1998) PMID: 9759494
- 2. Tone Y et al "Nob1p, a new essential protein, associates with the 26S proteasome of growing Saccharomyces cerevisiae cells." Gene 243:37-45 (2000) PMID: 10675611
- 3. Tone Y and Toh-e A 'Nob1p is reqired for biogenesis of the 26S proteasome and degraded upon its maturation in *Saccharomyces cerevisiae*." *Genes & Dev* **16**:3142-3157 (2002) PMID: <u>12502737</u>

図 1 この抗体を用いたウエスタンブロッティングに より、*S. cerevisiae* 粗抽出液において Nob1p (51.7kD) を検出した。

Related products: #62-201 anti-Rpn3, #62-203 anti-Rpn5, #62-205 anti-Rpn7, #62-207 anti-Rpn9, #62-209 anti-Rpn12,

#62-213 anti-Nas6, #62-215 anti-Tem1

